

平成30年度 三重県職員（法曹有資格者の任期付職員）の採用選考について

三重県では、法曹有資格者の方に行政分野でその能力を発揮していただくため、次のとおり任期付職員の募集を行います。

法律に関する高い専門性と実務経験を活かして、本県が直面する行政課題に積極的に取り組んでいただける方の応募をお待ちしております。

1 募集する職、人数、勤務先及び任期／採用日

職	人数	勤務先 ※	任期／採用日
主幹 (任期付)	1名	総務部法務・文書課 (津市広明町13番地)	(任期) 3年間 平成31年4月 1日から 平成34年3月31日まで

※ 勤務先は予定であり、変更となる場合があります。

2 業務内容

- (1) 施策の法的な妥当性や、法令への適合性の検証に係る業務（職員の法令習熟度の向上等の観点からの法律相談、職員研修、情報発信等）
- (2) コンプライアンス推進に係る職員研修等の業務
- (3) 条例案等の審査、法令解釈及び訟務事務への助言・指導に係る業務

※ 業務内容については、一部変更となる場合があります。

3 求められる資質

- (1) 法律分野全般に幅広く高い専門知識を備え、訴訟実務の経験があること。
- (2) 職員に対して研修・助言等を行うための指導力やコミュニケーション能力があること。

4 受験資格等

年 齢	経 験 等
年齢制限なし	(1) 司法修習を修了していること。 (2) 法律に関する高度な専門知識を有するとともに、法曹有資格者として訴訟活動に関する実務経験が2年以上あること。（平成30年8月17日時点）

※ 外国籍の人も受験できます（日本語で日常会話ができることが必要です）。ただし、就職が制限されている在留資格の人は採用されません。

※ 次のいずれかに該当する人は、受験できません。

- (1) 成年被後見人又は被保佐人（準禁治産者を含む。）
- (2) 禁錮（こ）以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの人
- (3) 三重県職員として懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない人
- (4) 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他団体を結成し、又はこれに加入した人

5 選考方法

区 分		内 容
第一次選考	書類審査	職務経験及び実績書の内容に基づき、適性等を審査します。
	面接試験	法曹有資格者として必要な能力・意欲、コミュニケーション能力、当該業務に対する適性、人物（協調性、積極性等）等について審査するため、面接による人物試験を行います。
第二次選考	面接試験	法曹有資格者として必要な能力・意欲、コミュニケーション能力、当該業務に対する適性等について審査するため、面接による人物試験を行います。

6 選考の日時、場所

(1) 第一次選考

区 分	試 験 日	場 所	合格者発表
面接試験	平成 30 年 9 月 2 日 (日) 受付 午前 8 時 45 分～ 試験 午前 9 時 15 分～	三重県吉田山会館 1 階 101 会議室 (津市栄町 1 丁目 891 三重県庁前)	平成 30 年 9 月 6 日 (木) 【予定】 受験者全員に結果を書面で通知 します。

(2) 第二次選考

区 分	試 験 日	場 所	合格者発表
面接試験	平成 30 年 9 月 16 日 (日) 受付 午前 8 時 45 分～ 試験 午前 9 時 15 分～	三重県吉田山会館 1 階 101 会議室 (津市栄町 1 丁目 891 三重県庁前)	平成 30 年 9 月下旬頃 【予定】 第二次選考受験者全員に結果を 書面で通知します。

7 採用

この選考による合格者は、原則として平成 31 年 4 月 1 日採用の予定です。

8 給与

「一般職の任期付職員の採用等に関する条例」の規定に基づき、決定します。

給料のほか、地域手当、通勤手当、期末手当等の諸手当がそれぞれ支給条件に応じて支給されます。扶養手当、住居手当、勤勉手当、時間外勤務手当等については支給されません。

※ 参考例：3号級の場合 月額 498,465円（給料及び地域手当）

※ 財政状況等により、特例的に給料が減額されることがあります。

9 服務等

勤務時間、休暇、服務等については、任期の定めのない一般職員と同様です。

なお、任期中は、営利企業等への従事（弁護士活動を含む。）は認められませんので、採用日までに退職、役員退任等の手続を完了する必要があります。

10 受験の申込方法と受付期間

区分	内容	必要書類等（各1部）
申込方法	<p>選考申込書に必要事項を自筆で記入のうえ写真を貼り付け、右記の必要書類等を添えて、下記申込先に直接持参するか又は郵送（簡易書留）してください。</p> <p>（平成30年8月17日（金）午後5時必着）</p>	<p>(1) 選考申込書</p> <p>(2) 職務経歴・実績書</p> <p>(3) 職務実績のわかる資料等がある場合は、その写し</p> <p>(4) 最終学歴の卒業（修了）証明書</p> <p>(5) 司法修習修了証の写し</p>
申込先及び所定様式の請求先	<p>三重県総務部 人事課 （担当：高山、伊藤）</p> <p>電話 059 224 2103</p> <p>住所 〒514-8570 三重県津市広明町13番地</p>	
受付期間及び時間	<p>平成30年6月18日（月）から平成30年8月17日（金）まで</p> <p>午前8時30分から午後5時まで</p> <p>（ただし、持参の場合、土曜日、日曜日及び祝日を除く。）</p>	

11 受験上の注意事項

- (1) 本試験の実施にあたっては、受験票の発行はしておりませんので、留意願います。
- (2) 試験会場には駐車場がないので、必ず公共交通機関を利用してください。
- (3) 携帯電話等は、試験会場に入る前に電源を切ってください。

12 試験成績の提供

受験者のうち希望者には試験成績を提供します。

なお、電話、はがき等による請求はできませんので、受験者本人が本人であることを証明する書類（運転免許証、健康保険の被保険者証、学生証など）を持参のうえ、直接お越しくください。

請求できる人	提供内容	提供期間	提供場所
受験者本人	受験者本人の試験における得点及び順位	<p>合否通知発送日から起算して1年間（ただし、土曜日、日曜日、祝日及び年末年始を除く。）</p> <p>午前8時30分から午後5時まで</p>	<p>三重県総務部人事課</p> <p>三重県津市広明町13番地</p> <p>（三重県庁3階）</p>

【県庁案内図】



(様式1)

三重県任期付職員（法曹有資格者）選考申込書

		*受付年月日	年 月 日
		*整理番号	
ふりがな	性別	生年月日	
氏名		年 月 日生	
現住所（〒 ）		外国籍 <input type="checkbox"/> (外国籍の方のみ✓を記入してください。)	
電話（ ）			
メールアドレス			
資格・免許			
名 称	取得（見込）年月日	認定（交付）機関	
司法修習 <small>（司法修習修了証の写しを添付してください。）</small>	修了		
<p>私は、三重県任期付職員採用選考を受けたいので、別紙職務履歴・実績書を添えて申し込みます。 なお、私は地方公務員法第16条各号のいずれにも該当していません。 また、この申込書及び別紙履歴書のすべての記載事項に相違ありません。</p> <p>(この欄は、自筆で記入してください。)</p> <p>平成 年 月 日</p> <p>氏 名 _____</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; width: fit-content; margin-left: auto; margin-right: auto;"><p style="text-align: center;">写真貼付</p><p>縦 4 c m 横 3 c m</p></div>			

※ 地方公務員法第16条に該当する人

- 成年被後見人又は被保佐人（準禁治産者を含む。）
- 禁錮（こ）以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの人
- 三重県職員として懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない人
- 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他団体を結成し、又はこれに加入した人

※ *の欄には、記入しないでください。

(様式2)

職務経歴・実績書（1）

氏名		生年月日		性別	
学 歴	学校名（学部学科名まで）	在学期間	卒・修了	専攻分野	
		～			
		～			
		～			
		～			
		～			
司法試験合格年度	年度	司法修習期間	～		
職 歴	勤務先（部課名まで）	在職期間	職務内容		
職務実績・ご自由にお書きください。					

(様式2)

職務経歴・実績書（2）

氏名 _____

志 望 動 機	
自己紹介・自己PR	
備 考	

職務経歴・実績書作成要領

- 1 「学歴」欄は、中学校以後から最終学歴までを記載してください。
 なお、すべての学歴を記載できない場合には、最終学歴を一番下に記入し、記載できる範囲でさかのぼって記載してください。
- 2 「職歴」欄は、古い順に記載してください。勤務先が同一でも、主として担当する職務内容が変わった場合には、段を変えて記載してください。
 また、今までの職歴をすべて記載できない場合には、別紙で添付してください。
 「勤務先」欄には、弁護士事務所の場合、規模（社員数等）も記入してください。
 「職務内容」欄には、主に担当していた業務・案件について記入してください。

【職歴欄記入例】

	勤務先（部課名まで）	在 職 期 間	職 務 内 容
職 歴	〇〇法律事務所 (弁護士8人、事務10人)	平成19年12月 ～平成22年3月	主に個人依頼案件を担当 相続、債権整理、離婚調停等
	同上	平成22年4月 ～平成25年3月	主に企業法務を担当 □〇株主代表訴訟被告代理人 △□株式会社更正手続等
	□□株式会社法務部法務課	平成25年4月 ～現在	知的所有権の申請、管理、訴訟対応等

- 3 「職務実績」欄は、担当した主な訴訟名、発表した論文、弁護士会の委員会活動、研究活動等について、ご自由にお書きください。
- 4 「志望動機」欄は、志望動機のほか、三重県において取り組みたい事案・業務等について記入してください。
- 5 「自己紹介・自己PR」欄は、これまでの経験、実績や今回募集している職への意欲など、三重県に採用されるにあたってPRしたい事項を、ご自由にお書きください。
- 6 「備考」欄には、保有する学位、資格、特許等がある場合には記載してください。
- 7 各項目について様式内に記入できない場合には、別紙に記載し、それを添付していただいてもかまいません。